

平成23年第1回臨時会 市長あいさつ

臨時会の冒頭にあたりまして、所信の一端を述べさせていただきます。

本来は、6月議会で申し上げるべきかもしれませんが、多くの課題が山積する中で、一刻も早く市議会の皆様や市民の皆様に、現状とこれからの対応についてお知らせすべきと考えました。

まず、東日本大震災で多くの方がお亡くなりになられたことに対しまして、改めまして、心よりお悔やみ申し上げますとともに、被災された方をはじめ避難生活を余儀なくされておられます皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

大震災の発生後、義援金や救援物資、ボランティアのご協力など、多くの市民の皆様の温かいお力添えに感謝とお礼を申し上げたいと存じます。

木津川市も、関係職員を順次派遣し、東北地方において、被災地・被災者の支援を行っており、今後も関係機関と一丸となって全力を挙げて取り組んでまいります。

被災地の復興には、長期にわたる支援が必要であると認識をしており、本格的な復興に向けまして、今後ますます大変な時期を迎え、日本全体も大きな国難に立ち向かっていかなければなりません。

これからも、市民の皆様と力を合わせ、被災地・被災者の支援に力を尽くしていきたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いを申し上げます。

さて、この度、先の選挙により、2期目の市政を担わせていただくことになりました。この4年間の、合併後の新しいまちづくりに対しまして、市民の皆様が一定の評価をしていただいたものと思っておりますが、クリーンセンターの早期整備をはじめとした諸課題の解決に向けまして、謙虚に2期目に向かっての心構えを立てているところでございます。

その上で、市民の皆様の負託に応えるため、改めて原点に立ち返り、全力を挙げて職務を全うしてまいりたい覚悟でございます。

また、市議会議員として、御当選をされました皆様におかれましても、市民の皆様の期待を受けて、木津川市のさらなる発展のため、ともに御活躍をいただきますことを、心から期待をしているところでございます。

特に、昨年度、議会におきまして「議会基本条例」が制定されました。

二元代表制のもと、市政における政策立案から始まり、評価と課題を広く市民に

情報公開することなどを含めて、市民参画と市民協働を掲げて新たな議会が始まることに期待をしまいたいと存じます。

市議会議員の皆様をはじめ、市民の皆様のお力なくしては、わがふるさと、木津川市のまちを創っていくことはできません。

私は、木津川市のまちづくりの 羅針盤でございます第一次木津川市総合計画に基づき、これまでの取組みを継続し、拡充してまいります。

「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」の実現に向けまして、「協働の原則」、「参加・参画の原則」、「情報共有の原則」など、3つの原則を推進し、市民の皆様との信頼関係の上に立ちつつ、市民の安心・安全を最優先に、時代の変化を着実に捉えて、それに対応した行政運営を進めてまいります。

その取組みにあたりましては、「クリーンで誠実な心の通った市政の実現」を、これまでと同様に、市の基本姿勢とし、職員とともに、全身全霊を傾注してまいります。全ての判断基準は、「一党一派に偏らず、公平・公正に、市民のみなさまのためにどうすべきか」にあると考えております。

問題や課題が出てまいりましたら、その情報公開と説明責任のもと、隠さずに公表し、市民の皆様とお話し合いをさせていただくということが、まずもって、必要ではないかと考えております。

例えば、市長の1期目に実施してまいりました「事業仕分け」では、その対象となる事業は、必要な事業なのか、必要でない事業なのか、必要な事業ではあるが、市でやるべきなのか、民間でやるべきなのか、また自分たち市民でやるべきなのか、行政とともに、市民や地域が自らまちづくりを考え、判断していくことがますます重要になってきていると考えております。

これが、行政自身を効率的・効果的にするとともに、自治体の体質強化、ひいては、人材の育成にもつながるのではないかと考えております。

さて、今回、私に課せられました最大の課題は、市民の皆様の深い理解と協力のもとに、クリーンセンターの早期整備であることは言うまでもありません。

本市の燃やすごみの処理の現状につきましては、西部塵埃処理組合の打越台環境センターにおいて、焼却処理をしておりますが、施設の老朽化が進み、いつ緊急停止をするかわからない状態です。

また、学研都市の進展に伴いごみ量も増加し、打越台環境センターでは燃やすごみが処理しきれないため、緊急避難措置として、民間事業者へ委託をせざるを得ない状態が続いています。

市民の皆さま方の日常生活に欠かすことのできないごみ処理は、基礎的な行政サービスでありますことから、クリーンセンター建設は、まさに喫緊の課題であると

考えております。

今般、新たに設置しようとしておりますクリーンセンターにつきましては、木津川市が学研都市にふさわしい環境都市として、更に発展するための根幹的な施設でありますことから、我が国の最新技術を取り入れ、安心で安全なエコプラントとして整備を進める方針でございます。

あわせまして、現在、クリーンセンター建設予定地の区域となっております、学研木津北・東地区につきましても、昨年度から委員会を立ち上げまして、土地利用のあり方検討を同時並行で進めさせていただいております。

識見を有する者をはじめといたしまして、関係機関である京都府・都市再生機構・関西文化学術研究都市推進機構とともに、一定の方向性をお示しいただくことになっておりまして、今後、まとまってまいりましたら、議員の皆様方にお示しをさせていただきたいと考えております。

私は、市長選挙に出馬するにあたり、6つのお約束をお示しし、25項目からなるマニフェストを発表いたしました。

これらは、あくまでも事業を具体化するためのスタート地点であると考えております。お示しいたしましたマニフェストを、市としての計画に位置づけ、具体的な事業として、予算化をさせていただいた上で、取り組むものでございます。

これらの項目については、さらに、検討を加えまして、実現可能性の高いものから順次、市議会議員の皆様のご同意や議決をいただき、取り組んでまいりたいと考えております。

最後に、去る3月11日に、東北地方において、東日本大震災という未曾有の大災害が、日本を襲ったわけでございますが、明るい将来が必ずやってくることを心から信じ、併せまして、皆様の夢や希望が少しでも実現できるまちとなるよう、市議会議員の皆様や市民の皆様とともに、全力で、市政運営に努めてまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

以上で、私からの開会の挨拶とさせていただきます。

平成23年5月12日

木津川市長 河井 規子